

調査報告

派遣先担当者調査 ー必要な能力・スキルー

- 正社員には幅広い能力・スキルが求められており、特に「計画立案力」「課題発見力」が他の雇用形態に比べて多く求められている。
- 契約社員には正社員に準ずる幅広い能力・スキルが、派遣社員には「仕事に必要な専門知識」と「実践力」が求められている。
- 同じ派遣社員でも、担当職域によって求められる能力・スキルが異なる。

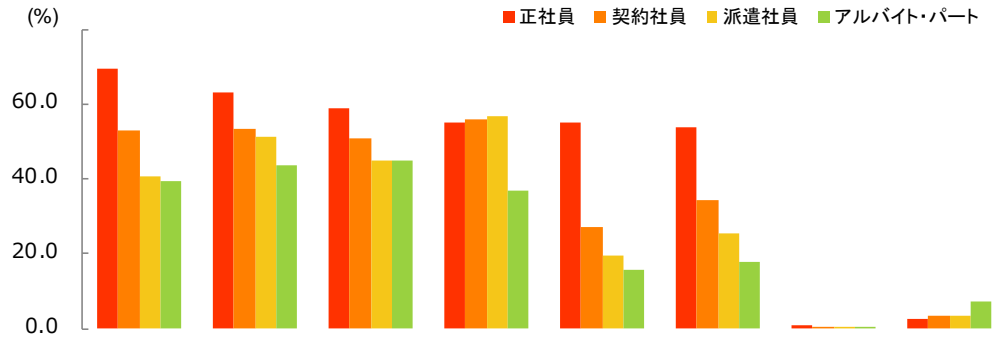
調査概要

調査目的	派遣社員（および他の雇用形態の従業員）を「評価する側」の意識と実態を把握すること。 なお、行動レベルの指標としては、人材サービス産業協議会による「4つのチカラ」を用いた。日本人材派遣協会による「派遣社員WEBアンケート調査」（2013年度）は、「4つのチカラ」について、派遣社員の自己評価を調査している。
調査手法	インターネット調査
調査地域	全国
調査期間	2014年3月14日～2014年3月17日
対象者条件	<ul style="list-style-type: none">・ 従業員数50人以上の法人の正社員・正職員または役員・経営者・ 派遣社員が同じ部署内に勤務しており、派遣社員についての「受入」「教育」「評価」いずれかを担当している
有効回答数	715（有効回答率71.1%）

参考サイト 一般社団法人 日本人材派遣協会 「派遣社員WEBアンケート調査」（2013年度）
<http://www.jassa.jp/employee/enquete.html>
一般社団法人 人材サービス産業協議会
<http://www.j-hr.or.jp/>

お問い合わせ先 <http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html>

1. 雇用形態別にみる「必要な能力・スキル」



	n=	主体性	実践力	変化対応力	仕事に必要な専門知識	計画立案力	課題発見力	その他	この中にはない
正社員	715	69.4	63.2	58.9	55.1	55.1	53.7	0.7	2.4
契約社員	464	52.8	53.4	50.6	55.8	27.2	34.3	0.2	3.2
派遣社員	715	40.6	51.2	44.9	56.9	19.6	25.5	0.4	3.2
アルバイト・パート	367	39.2	43.6	44.7	36.8	15.5	17.7	0.5	7.1

(複数回答可) 50%以上 40%以上

派遣先担当者に「『仕事をするうえでの能力・スキル』として何があればあなたの会社に勤められると思うか」を、雇用形態別に聞いた。選択肢は、「主体性（指示待ちではなく、自らの意思で積極的に行動する）」「実践力（環境変化に応じて計画修正ができ、臨機応変に対応する）」「変化対応力（前向きに受け止め、建設的に考える）」「仕事に必要な専門知識（ITスキル、語学力）」「計画立案力（課題解決のためのゴール設定と効果的な計画を立てる）」「課題発見力（情報収集、分析力）」「その他」「この中にはない」の8つである。

まず、正社員として勤めるために必要な能力・スキルとしては、すべての選択肢について50%以上の人が必要だと答えており、正社員には幅広い能力・スキルが求められているとわかる。特に「計画立案力」「課題発見力」が他の雇用形態に比べて高くなっている。

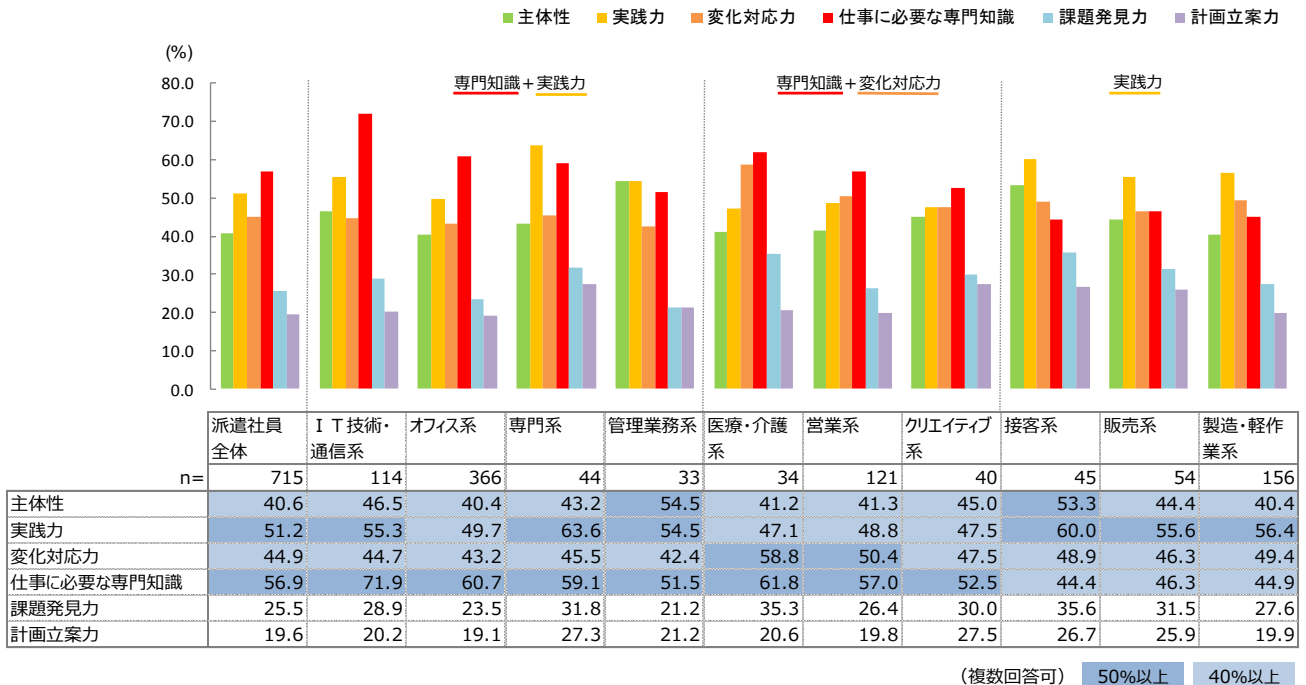
契約社員に対しては「仕事に必要な専門知識」「実践力」「主体性」「変化対応力」について50%以上の人が必要だと答えており、正社員に準ずる幅広い能力・スキルが求められている。

派遣社員に必要な能力・スキルとしては、「仕事に必要な専門知識」「実践力」を50%以上の人が必要だと答えており、専門的な仕事に対する即戦力としての能力・スキルが求められていると考えられる。特に「仕事に必要な専門知識」が必要だという回答は、4つの雇用形態の中で最も多い。

アルバイト・パートでは50%を超える回答はなく、「変化対応力」「実践力」を40%以上の人が必要としている。専門知識はそれほど必要でない仕事に、柔軟に対応する力が求められていると考えられる。

処遇の向上や正社員化を目指すには、まず現在の自分の雇用形態に求められている能力・スキルを身に付け、そのうえで正社員等に必要な能力・スキルを上げるのが効果的だろう。

2. 派遣社員の担当職域別に見る「必要な能力・スキル」



前頁と同じ質問「『仕事をするうえでの能力・スキル』として何があればあなたの会社に勤められると思うか」について、さらに派遣社員の担当職域別に見てみよう。同じ派遣社員の間で、担当する仕事内容によって求められる能力・スキルはどのように違うのだろうか。（※なお、一部の職域ではサンプル数が少ないため、注意が必要である。）

まず、「IT技術・通信系」「オフィス系（事務職、企画職、受付、秘書など）」「専門系（通訳、翻訳など）」「管理業務系（人材・店舗管理、シフト管理など）」では、「仕事に必要な専門知識」と「実践力」が求められるという回答が多い。専門的な仕事に対する即戦力としての能力・スキルが求められていると考えられる。

一方、「医療・介護系」「営業系（コールセンター、セールスなど）」「クリエイティブ系（編集・広告・Webデザイン等）」では、「仕事に必要な専門知識」に次いで「変化対応力」が必要とされている。職務柄、柔軟な対応が求められていることがわかる。

「接客系（飲食、理美容、その他サービス業など）」「販売系（雑貨、アパレル、小売りなど）」「製造・軽作業系」では「仕事に必要な専門知識」が40%台と少なく、「実践力」が高い。専門知識は比較的不要としないものの、顧客対応力などが雇用形態にかかわらず求められるものと考えられる。

同じ派遣社員の間でも担当職域によって求められる能力・スキルが異なるため、自分の仕事に求められる能力・スキルを高めるよう意識すると、スキルアップにつながりやすいだろう。